

通信かがやき



令和5年度 第1号
令和5年4月10日



太田小学校 発達障害・情緒障害通級指導教室「かがやき」

春光あまねく季節、太田小通級指導教室「かがやき」は、児童数12人でのスタートです。担当は、昨年度に引き続き講師・坂本諭とSA・鈴木智子です。よろしくお願いします。

さて、この通信では、通級指導教室「かがやき」の役目や活動の様子をお知らせするとともに「困った感」のある子どもたちにどう指導・支援すればよいか紹介し、学級経営で、子育てで、ヒントにしていいただければと思います。

通級による指導とは

小学校や中学校などの通常の学級に在籍するお子さんのなかには、教室環境を整備したり、支援機器を用いたり、教材教具を工夫したりするだけでは、落ち着いて学校生活を過ごしたり、学力の定着を図ったりすることが難しいお子さんがいます。そのようなお子さんに対して、各教科の指導のほかに学習場面や生活場面で生じる困難を改善・克服するために、そのお子さんの特性に応じた特別の指導を「通級指導教室」といった特別な場で受ける指導形態があります。これを通級による指導と呼びます。

さいたま市には、難聴・言語障害通級指導教室(ことばの教室)と発達障害・情緒障害通級指導教室(小学生が通うかがやき教室・中学生が通うはばたき教室)・肢体不自由通級指導教室が設置されています。

通級による指導の指導内容

特に必要がある時は、そのお子さんの特性に応じて各教科の内容を取り扱いながら行うことができますが、あくまで通級による指導で行われる指導は、特性に応じた特別の指導として自立活動を参考に指導を行うこととなっています。在籍学級での学習の遅れを取り戻したり、予習・復習の目的で各教科の学習を取り扱ったりすることは認められていません。「かがやき」の指導を受けるために欠けた学習は在籍校の学級担任と保護者の方とで協力して補習していただきます。

自立活動とは、

ここでいう「自立」とは、個々の児童がそれぞれの障害の状態や発達の段階等に応じて、主体的に自己の能力を可能な限り発揮し、よりよく生きていくことを意味しています。「調和的発達」とは、発達の遅れや不均衡を改善したり、発達の進んでいる側面をさらに伸ばすことによって、遅れている側面の発達を促したりするなどの全人格的な発達を促すことを意味しています。そのため、自分でできるようになることだけを指すのではなく、自分の学びやすい環境や方法に気づき、自分で配慮を依頼できるようになることをねらう場合などもあります。

(参考・「小学校・中学校通常の学級の先生のための手引き書」)

自立活動	
目標	個々の児童又は生徒が自立を目指し、障害による学習または生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を養う。
領域	項目
1 健康の保持	1 生活のリズムや生活習慣の形成に関する事
	2 病気の状態の理解と生活管理に関する事
	3 身体各部位の状態の理解と養護に関する事
	4 障害の特性の理解と生活環境の調整に関する事
	5 健康状態の維持・改善に関する事
2 心理的な安定	1 情緒の安定に関する事
	2 状況の理解と変化への対応に関する事
	3 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関する事。
3 人間関係の形成	1 他者との関わりの基礎に関する事
	2 他者の意図や感情の理解に関する事
	3 自己の理解と行動の調整に関する事
	4 集団の参加の基礎に関する事
4 環境の把握	1 保有する感覚の活用に関する事
	2 感覚や認知の特性についての理解と対応に関する事
	3 感覚の補助及び代行手段の活用に関する事
	4 感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関する事
	5 認知や行動の手がかりとなる概念の形成に関する事
5 身体の動き	1 姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事
	2 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関する事
	3 日常生活に必要な基本動作に関する事
	4 身体の移動能力に関する事
	5 作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事
6 コミュニケーション	1 コミュニケーションの基礎的能力に関する事
	2 言語の受容と表出に関する事
	3 言語の形成と活用に関する事
	4 コミュニケーション手段の選択と活用に関する事
	5 状況に応じたコミュニケーションに関する事

スタートは、子どもの実態を共通理解することから

通級による指導を通常の学級における指導に生かすには、通級担当者として学級担任・保護者がお子さんの実態を共通理解することから始まります。個別の教育支援計画や「潤いファイル」、連絡に使う黄色の「かがやきファイル」を活用してください。「かがやきファイル」には、学級や御家庭のできごともお書きください。